

## 1 バールの使い方

バールは、てこの力を使って重い物を動かすことが可能で、右図のように地震等の災害時に、建物や車などに閉じ込められた人を安全な場所に救出するため、がれきを持ち上げたり、ドアをこじ開けたり、窓を破壊するのに有効です。



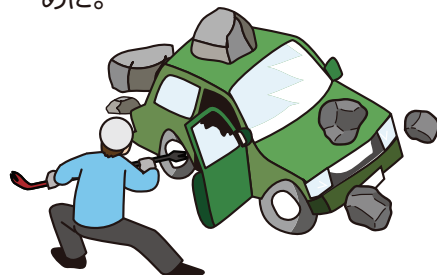
### ガレキ除去用

倒壊した家の中で、家具や柱の下敷きになっている人を救助するために。



### ドアこじ開け用

地震の揺れで開かなくなったドアや窓をこじあけ、中にいる人を救助するために。



### 車両救助用

動けなくなった車の窓を割り、中にいる人を救助するために。



## 1 操作の流れ

ここでは、重量物に挟まれている人がおり、重量物をバールで持ち上げて救出するという想定で操作の流れを確認します。

### 状況確認

- 1 重量物に挟まれている人（要救助者）を確認し、バールで持ち上げる場所を選定する



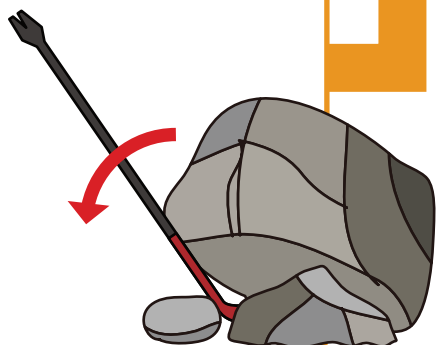
### 安全対策

- 3 救出できるすき間があれば角材などによりすき間を確保する



### 重量物持ち上げ

- 2 バールにより重量物を持ち上げる



### 救出

- 4 安全な場所に搬送する



## 2 バールの操作手順



### 1 要救助者を確認し、持ち上げる場所を選定する

- 要救助者の周囲の安全を確認しながら近づきましょう。
- 要救助者の意識状態やけが、挟まれ状況などを確認しましょう。



### 3 救出できるすき間ができれば角材などによりすき間を確保する

- すき間に角材を入れることにより、重量物が下がらないように安全対策を行います。



### 2 バールにより重量物を持ち上げる

- てこの原理によりバールをゆっくり抑え込み、重量物を上げましょう。
- 抑え込む時、バールに乗りかからないようにしましょう。何かの拍子でバールが跳ね返り身体に当たると危険です!
- 安全管理者は、全体のバランスや上げている重量物と反対の箇所が下がり要救助者を圧迫していないかなどを確認しましょう。



### 4 安全な場所に搬送する

- 搬送法は「第5 搬送法・ファーストエイド」を参照してください。



### てこの原理

右図のように、棒の一点を支えにして力を加え、物を持ち上げることを「てこ」といいますが、支点と力点が離れている方が、物を楽に持ち上げることができます。

支点と力点との距離を確保するため、長いバールを使用しましょう。長いバールがないときは、鉄パイプなどで長さを確保しましょう。

